

米国保険情報協会発行「ファクトブック 2009」を翻訳した 「ザ・ファクトブック 2009 アメリカ損害保険事情」の作成

株式会社損保ジャパン総合研究所（理事長 宮村 智）は、このたび、米国保険情報協会（Insurance Information Institute:略称 I. I. I.*¹）が発行した「ファクトブック2009」を翻訳した「ザ・ファクトブック 2009 アメリカ損害保険事情」を作成し、当社のホームページ*²に掲載しました。当社は1990年からこの「ファクトブック」を毎年翻訳しており、今年で20年目になります。

「ファクトブック」は、米国における損害保険業界の収支や保険種目別損害状況など損害保険事業に関する数多くの統計数値を集計し、整理したものです。米国損害保険業界の現状を把握するうえで大変有益な資料で、一般の方でも理解できるような解説が加えられています。

2009年版には、2007年における保険事業環境の動向や業界の事業成績が主に掲載されています。

*¹米国保険情報協会（I. I. I.）は米国の主要保険会社が加盟する調査・情報サービス機関で、保険に関する教育・調査・出版などを主な業務としています。保険業界に対する理解を深めることを主要な目的として1959年に創立されました。

*²当社ホームページアドレスは次のとおりです。2003年以降の各年版を無料でダウンロードすることができます。

http://www.sj-ri.co.jp/research/insurance_finance/factbook.html

■ 2009年版の主な掲載内容

第1章「世界の保険市場」

世界の生命保険市場と損害保険市場の現状を概観しています。保険料収入上位の国、保険会社等の世界ランキングなどを掲載しています。2009年版では、新たにキャットボンドについても掲載しています。

第2章「米国保険業界、全部門」

米国の損害保険および生命・健康保険業界の現状を概観しています。各業界の保険料収入、保険会社ランキングや、保険関連の主な合併・買収などを掲載しています。

第3章「生命・健康保険業界の財務データ」

米国の生命・健康保険業界の財務成績を概観しています。また、種目別保険料、主要な保険会社などを掲載しています。

第4章「損害保険業界の財務データ」

米国の損害保険業界の財務成績を概観しています。また、サープラスライン[※]、再保険、州別保険料、州別保険料税、支払保証基金などに関する情報を掲載しています。

[※]「サープラスライン」とは、当該州で免許を受けている認可保険会社からは保険の入手ができないため、非認可保険会社から購入せざるを得ない損害保険のことです。

第5章「米国損害保険の種目別状況」

損害保険事業における個人保険と企業保険の統計データを掲載しています。

また、個人保険では、自動車保険・住宅所有者保険の状況を詳しく解説しています。さらに、洪水保険や地震保険に触れた後、企業向けの多岐に渡る保険商品を種目別に紹介しています。

2009年版では、新たに金融保証保険についても掲載しています。

第6章「損害」

大規模災害、火災、犯罪、自動車事故および盗難、スポーツ活動中の傷害、航空機事故、労働者災害等に関する各損害の状況・損害額を紹介しています。

第7章「コストに影響を及ぼす要因」

財とサービスの費用、保険詐欺、訴訟問題を取り上げ、消費者、保険会社それぞれの立場からコストに影響を及ぼす要因について解説しています。

第8章「付録」

米国保険情報協会の刊行物、保険小史、州保険庁、保険および関連サービス機関の住所録、米国保険情報協会加盟会社リスト、米国保険情報協会の組織・連絡先ならびに索引などを掲載しています。インターネット・ホームページを持つ機関については、そのURLも紹介しています。

以上